

# 議会 Assembly

**新** 年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、平成29年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げますとともに、日頃から町政執行に對しまして、深いご理解と格別のご支援ご協力を賜りお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、平成18年3月31日に「静内町」と「三石町」が合併し「新ひだか町」が誕生してから十周年を迎えた記念すべき年でありました。町十周年を契機として、さらに心を一につに前を向いて飛躍するため、町民の皆様を主役とした協働のまちづくりを目指し、この町で暮らしたい、この町で暮らしてよかったと思っていた、ただけるような「ふる郷 新ひだか」を目指し、将来を担う子どもたちに自信を持って引き継いでいくためにも、安全安心で心豊かな暮らしのできるまちづくりを展開するため、気持ちを未来へ向け、新たな時代への一歩をふみ出す年でありました。また、国内に目を向けま

すと、地球温暖化の影響からか、日本列島のあちらこちらで風水害などによる被害がありました。本道沿岸ではサンマからイワシ、秋サケからブリと漁獲資源が変わり、漁業経営を脅かされ、農作物においても同様で、未だかつてない台風被害による産業経済活動へのマイナスも大きく現われるなど、地球規模の温暖化対策に對し再認識させられる年でもありました。

一方、スポーツ界では、リオ五輪・パラリンピックで日本は史上最多のメダルを獲得、道産子選手は卓球、柔道など5人がメダルを手にし、北海道日本ハムファイターズ日本一、コンサドーレ札幌がJ2で優勝を果たすなど、北海道勢の大活躍により道民全員、夢と希望をもらいました。

身近な話題としましては、ホッカイドウ競馬が売上げを伸ばし4年連続で黒字を達成。サラブレッド一歳馬の競り市「北海道市場サマーセール」では4日間で805頭、約37億円の取引が行われましたし、当町

の生産馬では「デイー・マジエステイ号、エイシンヒカリ号、サウンドトゥルー号」がG1レースで優勝と朗報が相次ぎ舞い込みました。今後におきましても、地域の基幹産業である軽種馬の振興発展のため、さらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。また、懸案のJR日高線の存続については、引き続き尽力して参ります。

さて、我が国の経済を見ますと、アベノミクス効果により高水準の企業収益や雇用・所得環境の改善が見られ、緩やかな回復基調にあるものの、地方財政は一部の主要都市圏を除きその効果が実感できておらず、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」もその効果がまだ期待しているほど見えない中、地方の人口流出は止まらず、超少子高齢化に伴い生産年齢人口は加速度的に減少し、社会保障を中心とした多様化する住民ニーズにスピード感をもって対応することは非常に困難な情勢となっております。

このような状況の中でも「ふる郷 新ひだか」のま

わが町は、誕生して満10周年を迎え、昨年10月15日に新ひだか町誕生10周年記念式典・記念植樹式を平成28年度新ひだか町・新ひだか町教育委員会表彰と併せて実施、前日には若さあふれたパフォーマンスとともに、姉妹都市・友好市町村との歓迎交流会を開催し交流の絆を深めることができました。

私たち議会においては、全道町村議会議員研修で「ひとを動かし、まちを動かす」「日本の行方、政局・政治展望」を受講、翌日には北海道博物館を視察し、観光も含め現在の要望に相應る博物館を目指している事など建設の経緯を説明いただきました。2年に一度実施しております各常任委員会の道内視察調査は、道内が大きな災害に見舞われたために自粛し、今年度は取りやめました。

また、運休が長期化しているJR日高線の早期開通を目指すなど、議会は町民の意見を反映させ、行政のチェック機能を果たし、新ひだか町の発展のために



新ひだか町議会議長 細川勝弥

全力を傾注し、町民に見える議会活動をさらに前進させるためにも、研鑽を深め、責務と責任をしっかりと議員全員で果たし、町民の皆様の付託に答えて参る所存であります。

夢あふれる未来に向かって、取り巻く状況は極めて厳しいものがありますが、心豊かで活気に満ちたまちづくりを実現するため、私たちは町民一体となつて着実に乗り越えていかなければなりません。

結びに町民皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げ、町民の皆様にとりまして輝かしい一年であることを祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。

# 行政 Administration

**新** 年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、平成29年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げますとともに、日頃から町政執行に對しまして、深いご理解と格別のご支援ご協力を賜りお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、平成18年3月31日に「静内町」と「三石町」が合併し「新ひだか町」が誕生してから十周年を迎えた記念すべき年でありました。町十周年を契機として、さらに心を一につに前を向いて飛躍するため、町民の皆様を主役とした協働のまちづくりを目指し、この町で暮らしたい、この町で暮らしてよかったと思っていた、ただけるような「ふる郷 新ひだか」を目指し、将来を担う子どもたちに自信を持って引き継いでいくためにも、安全安心で心豊かな暮らしのできるまちづくりを展開するため、気持ちを未来へ向け、新たな時代への一歩をふみ出す年でありました。また、国内に目を向けま

すと、地球温暖化の影響からか、日本列島のあちらこちらで風水害などによる被害がありました。本道沿岸ではサンマからイワシ、秋サケからブリと漁獲資源が変わり、漁業経営を脅かされ、農作物においても同様で、未だかつてない台風被害による産業経済活動へのマイナスも大きく現われるなど、地球規模の温暖化対策に對し再認識させられる年でもありました。

一方、スポーツ界では、リオ五輪・パラリンピックで日本は史上最多のメダルを獲得、道産子選手は卓球、柔道など5人がメダルを手にし、北海道日本ハムファイターズ日本一、コンサドーレ札幌がJ2で優勝を果たすなど、北海道勢の大活躍により道民全員、夢と希望をもらいました。

身近な話題としましては、ホッカイドウ競馬が売上げを伸ばし4年連続で黒字を達成。サラブレッド一歳馬の競り市「北海道市場サマーセール」では4日間で805頭、約37億円の取引が行われましたし、当町

の生産馬では「デイー・マジエステイ号、エイシンヒカリ号、サウンドトゥルー号」がG1レースで優勝と朗報が相次ぎ舞い込みました。今後におきましても、地域の基幹産業である軽種馬の振興発展のため、さらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。また、懸案のJR日高線の存続については、引き続き尽力して参ります。

さて、我が国の経済を見ますと、アベノミクス効果により高水準の企業収益や雇用・所得環境の改善が見られ、緩やかな回復基調にあるものの、地方財政は一部の主要都市圏を除きその効果が実感できておらず、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」もその効果がまだ期待しているほど見えない中、地方の人口流出は止まらず、超少子高齢化に伴い生産年齢人口は加速度的に減少し、社会保障を中心とした多様化する住民ニーズにスピード感をもって対応することは非常に困難な情勢となっております。

このような状況の中でも「ふる郷 新ひだか」のま



新ひだか町長 酒井芳秀

ちづくりは、引き続き「公平・思いやり・郷土愛」の精神をベースに「涼夏少雪の郷」「優勝王国」新ひだか町の魅力を管内各町とも連携しながら全国、さらにはアジアへ向けて発信するまちづくりに取り組んで参ります。

「ふる郷 新ひだか」は誕生してから十年が過ぎました。新たな時代へ一歩ずつ力強く歩みを進め、この町を愛する皆様を主役とした協働のまちづくりを目指するため、年頭にあたり決意を新たに一層の努力を傾注する所存であります。

本年が皆様にとりまして、希望に満ちた年となりますよう、心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

2017年  
年頭のごあいさつ

第2回観光フォトコンテスト入選作品「駿馬爽風」